

第1章 総説

1 組合の概要

(名称) 志木地区衛生組合

(構成市) 志木市・新座市・富士見市

(組合設立) 昭和39年6月1日

(設立目的) ごみ等に関する事業

(処理面積) 51.60 km²

志木市9.05 km²、新座市22.78 km²、富士見市19.77 km²

(処理人口) 348,872人 (平成28年4月1日現在)

(所在地) 事務局 富士見市大字勝瀬480番地

富士見環境センター 同上

新座環境センター 新座市大和田3丁目9番1号

(施設の概要)

1) 富士見環境センター

(敷地面積20,841.75 m²、建築延面積9,777.46 m²)

ごみ焼却炉 180 t / 24 H (90 t × 2基)

焼却灰含有重金属処理施設 15 t / 24 H

集塵灰含有重金属処理施設 3.6 t / 24 H

粗大ごみ破碎施設 25 t / 5 H

ビン処理施設 13 t / 5 H

アルミプレス機 3 t / 5 H

2) 新座環境センター

(敷地面積 10,940.02 m²)

〈東工場 (建築延面積3,245.10 m²)〉

ごみ焼却炉 90 t / 24 H

集塵灰含有重金属処理施設 8.4 t / 24 H

粗大ごみ切断処理施設 5 t / 5 H

〈西工場 (建築延面積2,527.09 m²)〉

ごみ焼却炉 90 t / 24 H

集塵灰含有重金属処理施設 3.4 t / 24 H

3) リサイクルプラザ

(富士見環境センターに併設、建築延面積5,102.30 m²)

資源プラスチック分別処理施設 26 t / 5 H

4) (仮称) 志木環境センター建設用地

(敷地面積 19,797 m²)

志木市下宗岡一丁目7, 209番地1他

2 組合のあゆみ

昭和39年 6月	足立町外2町衛生組合設立 (事務所位置 北足立郡足立町大字志木2502の2番地 足立町役場内)
昭和41年 1月	志木環境センター完成(日量40トン焼却炉) (北足立郡足立町大字志木370番地) 処理能力 40t/8H 型式 機械化バッチ燃焼式 敷地 2,065.8m ² 工事費 93,800,000円 工期 着工 昭和40年 2月 竣工 昭和41年 1月 建物の規模 鉄骨ストレート葺204m ² (じんかい壕、クレーン室、 操作室)、軽量鉄骨135m ² (管理棟 2階建) 設計施工 汽車製造株式会社 撤去 昭和62年 3月 事務所の移転 北足立郡足立町大字志木370番地
昭和45年10月	志木環境センター増設炉完成(日量80トン焼却炉) 処理能力 20t/8H×4基 型式 機械化バッチ燃焼式 敷地 3,509.2m ² 工事費 180,000,000円 財源内訳 国庫補助金 12,000,000円 起債 126,000,000円 一般財源 42,000,000円 工期 着工 昭和44年 8月 竣工 昭和45年10月 建物の規模 鉄筋コンクリート造 設計施工 三和動熱工業株式会社 撤去 昭和62年 3月
昭和45年10月	市制施行による事務所位置の名称変更 志木市大字志木370番地
昭和46年 2月	志木地区衛生組合に名称変更
昭和46年12月	志木環境センター 有価物回収施設完成

昭和50年 3月	志木環境センター 電気集じん器完成
	処理能力 94,000Nm ³ /H
	工事費 192,000,000円
	工期 着工 昭和49年 6月
	竣工 昭和50年 3月
	設計施工 古河鋳業株式会社
	撤去 昭和62年 3月
昭和54年 1月	新座環境センター東工場完成 (日量180トン焼却炉)
	処理能力 180t/24H (90t/24H×2基)
	(粗大ごみ切断処理施設併設)
	型式 エバラAH型全連続燃焼式焼却炉
	工事費 942,900,000円
	財源内訳 国庫補助金 466,985,000円
	県補助金 32,402,000円
	地方債 442,800,000円
	一般財源 713,000円
	工期 着工 昭和52年 8月
	竣工 昭和54年 1月
	建物の規模 建物延面積 3,185.16m ²
	地下1階・地上3階建鉄骨鉄筋コンクリート造
	設計施工 荏原インフィルコ株式会社
昭和54年 3月	住居表示施行による事務所位置の名称変更 志木市館二丁目2番1号
昭和58年12月	志木環境センター 廃止
昭和59年 3月	新座環境センター東工場 塩化水素除去設備完成
	処理能力 40,000Nm ³ /H×2基
	型式 乾式-空中煙道吹込
	工事費 79,200,000円
	財源内訳 地方債 63,300,000円
	一般財源 15,900,000円
	工期 着工 昭和58年10月
	竣工 昭和59年 2月
	設計施工 古河鋳業株式会社
昭和61年 3月	富士見環境センター完成 (日量180トン焼却炉)

処理能力 180 t / 24 H (90 t / 24 H × 2基)
 型式 タクマHL型全連続燃焼式焼却炉
 工事費 4,097,670,000円
 (施工監理業務委託 47,670,000円含む)
 財源内訳 国庫補助金 1,377,000,000円
 県補助金 91,799,000円
 地方債 2,231,000,000円
 一般財源 397,871,000円
 用地購入費 1,082,113,000円
 (搬入路工事費 13,500,000円含む)
 工期 着工 昭和59年 2月
 竣工 昭和61年 3月
 建物の規模 建物延面積 7,120.68m²
 地下1階・地上4階建鉄骨鉄筋コンクリート造
 及び鉄骨造
 設計施工 株式会社タクマ

(粗大ごみ破碎処理施設、有価物回収施設、アルミプレス機)

処理能力 粗大ごみ破碎処理設備 30 t / 5 H
 有価物回収施設 31 t / 5 H
 アルミプレス機 3 t / 5 H
 型式 粗大ごみ処理設備 回転せん断衝撃式横型破碎機
 有価物回収施設 手選別コンベヤーライン
 工事費 475,290,000円
 (施工監理業務委託 1,290,000円含む)
 財源内訳 国庫補助金 141,830,000円
 県補助金 18,910,000円
 地方債 266,700,000円
 一般財源 47,850,000円
 工期 着工 昭和60年 7月
 竣工 昭和61年 3月
 建物の規模 建築延面積 732.58m²
 地下1階・地上2階建鉄骨鉄筋コンクリート造
 及び鉄骨造
 設計施工 株式会社タクマ

昭和61年 4月 事務所の移転 富士見市大字勝瀬480番地

昭和62年 3月 志木環境センター解体撤去

平成 元年 3月	一般廃棄物処理基本計画策定
平成 6年 1月	(仮称) 志木環境センター建設用地取得事業着手
平成 6年 9月	<p>新座環境センター西工場完成 (日量90トン焼却炉)</p> <p>処理能力 90 t / 24H</p> <p>型式 全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)</p> <p>工事費 6, 115, 110, 000円 (施工監理業務委託 58, 710, 000円含む)</p> <p>財源内訳 国庫補助金 763, 245, 000円 県補助金 38, 186, 000円 地方債 3, 853, 200, 000円 一般財源 1, 460, 479, 000円</p> <p>工期 着工 平成 4年 7月 竣工 平成 6年 9月</p> <p>建物の規模 建物延面積 2, 527. 09m² 地上3階建鉄骨鉄筋コンクリート造</p> <p>設計施工 日立造船株式会社</p>
平成 7年 3月	一般廃棄物処理基本計画及びごみ処理施設整備基本構想策定
平成 8年 3月	<p>富士見環境センター 焼却灰含有重金属処理施設完成</p> <p>処理能力 焼却灰薬品処理設備 15 t / 24H × 1基 処理能力 集じん灰薬品処理設備 3. 6 t / 24H × 1基</p> <p>工事費 123, 600, 000円</p> <p>財源内訳 県補助金 18, 325, 000円 地方債 84, 200, 000円 一般財源 21, 075, 000円</p> <p>工期 着工 平成 7年 9月 竣工 平成 8年 3月</p> <p>設計施工 千代田技研工業株式会社</p>
平成 8年 3月	<p>(仮称) 志木環境センター建設用地取得事業完了</p> <p>面積 19, 805m²</p> <p>取得費 2, 409, 049, 001円</p> <p>財源内訳 起債 2, 408, 800, 000円 一般財源 249, 001円</p>

平成 9年 3月 新座環境センター 集じん灰含有重金属処理施設完成
 処理能力
 〈東工場〉 集じん灰薬品処理設備 3.7 t / 24H × 2基
 〈西工場〉 集じん灰薬品処理設備 3.4 t / 24H
 工事費 57,165,000円
 財源内訳 県補助金 8,574,000円
 地方債 38,800,000円
 一般財源 9,791,000円
 工期 着工 平成 8年11月
 竣工 平成 9年 3月
 設計施工 日立造船株式会社

平成 9年 6月 志木市、新座市、富士見市のペットボトル収集開始し、分別区分を可燃ごみ、粗大ごみ、リサイクル資源(ビン・カン・ペットボトル)、不燃ごみに統一

平成 9年11月 富士見環境センターCO₂-O₂連続分析計設置工事完成
 工事費 13,650,000円
 工期 着工 平成 9年 7月
 竣工 平成 9年11月
 設計施工 株式会社タクマ

平成 9年11月 新座環境センター東工場CO₂-O₂連続分析計設置工事完成
 工事費 14,700,000円
 工期 着工 平成 9年 7月
 竣工 平成 9年11月
 設計施工 荏原エンジニアリングサービス株式会社

平成10年 3月 一般廃棄物処理基本計画及び廃棄物循環型社会基盤施設整備計画策定

平成10年11月 新座環境センター東工場ダイオキシン応急対策工事完成
 工事費 46,200,000円
 工期 着工 平成10年 9月
 竣工 平成10年11月
 設計施工 株式会社荏原製作所北関東支店

平成11年 3月 (仮称) 志木環境センター建設用地整備及び管理施設設置完成

平成12年 8月 富士見環境センターダイオキシン恒久対策工事完成
 工事費 2,703,225,000円
 財源内訳 国庫補助金 1,242,675,000円

	県補助金	111,754,000円
	地方債	1,259,100,000円
	一般財源	89,696,000円
工 期	着 工	平成10年 7月
	竣 工	平成12年 8月
設 計 施 工	株式会社タクマ	
平成13年11月	志木市、新座市、富士見市(一部)資源プラスチック分別収集開始 リサイクルプラザ資源プラスチック分別処理施設稼働	
平成14年 2月	リサイクルプラザ完成	
	工 事 費	1,659,000,000円
	財 源 内 訳	国庫補助金 818,160,000円
		地 方 債 788,600,000円
		一 般 財 源 52,240,000円
工 期	着 工	平成12年 6月
	竣 工	平成14年 2月
建物の規模	建物延面積	5,102.3m ²
	地下1階・地上2階建鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	
設 計 施 工	株式会社タクマ	
平成14年 4月	富士見市(全域)資源プラスチック分別収集開始 リサイクルプラザ利彩館開館	
平成15年 2月	新座環境センター東工場完成(日量90トン焼却炉) ダイオキシン恒久対策工事完成	
	処 理 能 力	90t/24H
	型 式	全連続燃焼式焼却炉(ストーカ式)
	工 事 費	3,514,350,000円 (施工監理業務委託 28,350,000円含む)
	財 源 内 訳	国庫補助金 624,750,000円
		県 補 助 金 12,244,000円
		地 方 債 2,186,200,000円
		一 般 財 源 662,806,000円
工 期	着 工	平成13年 6月
	竣 工	平成15年 2月
建物の規模	建物延面積	3,245.10m ²
	地上3階建鉄骨鉄筋コンクリート造	
設 計 施 工	株式会社荏原製作所北関東支店	

平成16年	3月	一般廃棄物処理基本計画（改訂版）策定
	3月	志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画策定
平成21年	3月	第二期志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画策定
平成22年	6月	新型インフルエンザに対応する事業継続計画策定
平成23年	3月	粗大ごみ破碎処理施設更新計画策定
平成23年	3月	第二期志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画改訂
平成24年	1月	志木地区衛生組合循環型社会形成推進地域計画策定
平成24年	3月	志木地区衛生組合一般廃棄物処理基本計画策定
平成25年	3月	第三期志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画策定
平成26年	12月	粗大ごみ・ビン処理施設完成
		処理能力 粗大・不燃ごみ系列 25 t / 5 H
		ビン系列 13 t / 5 H
		型式 低速回転式破碎機（二軸せん断式）
		高速回転式破碎機（縦型）
		工事費 1,679,548,500円
		（施工監理業務委託 15,750,000円含む）
		財源内訳 国庫補助金 533,082,000円
		地方債 984,200,000円
		一般財源 162,266,500円
		工期 着工 平成25年 5月
		竣工 平成26年12月
		建物の規模 建物延面積 2,656.78m ²
		地上2階建鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
		設計施工 極東開発工業株式会社
平成27年	3月	第四期志木地区衛生組合地球温暖化防止実行計画策定

3 施設整備の経緯

〈志木環境センター〉

昭和40年	2月	建設事業着工
昭和41年	1月	建設事業完成（40t／8H）
昭和43年	12月	増設用地取得
昭和44年	8月	増設炉建設事業着工
昭和45年	10月	増設炉建設事業完成（80t／8H）
昭和46年	12月	有価物回収施設完成
昭和49年	7月	電気集じん器設置着工
昭和50年	3月	電気集じん器設置完成
昭和58年	12月	廃止
昭和62年	2月	解体撤去工事着工
昭和62年	3月	解体撤去工事完了

〈新座環境センター〉

昭和49年	5月	東工場用地取得事業着手
昭和50年	12月	東工場用地取得事業完了
昭和52年	8月	東工場建設事業着工
昭和54年	1月	東工場建設事業完成（90t／24H×2炉、粗大ごみ切断処理施設） （本格稼働 昭和54年2月7日）
昭和58年	10月	東工場塩化水素除去設備着工
昭和59年	3月	東工場塩化水素除去設備完成
平成4年	7月	西工場建設事業着工
平成6年	9月	西工場建設事業完成（90t／24H） （本格稼働 平成6年10月1日）
平成8年	11月	東工場、西工場集じん灰含有重金属処理施設着工
平成9年	3月	東工場、西工場集じん灰含有重金属処理施設完成
平成9年	7月	東工場CO-O ₂ 連続分析計設置着工
	11月	東工場CO-O ₂ 連続分析計設置完成
平成10年	9月	東工場ダイオキシン応急対策工事着工
	11月	東工場ダイオキシン応急対策工事完成
平成13年	6月	東工場改善（ダイオキシン恒久対策）工事着工
平成15年	2月	東工場改善（ダイオキシン恒久対策）工事完成

〈富士見環境センター〉

昭和57年	1月	用地取得事業着手（富士見市土地開発公社）
	6月	用地取得事業完了（富士見市土地開発公社）
昭和59年	2月	建設事業着工
昭和60年	7月	粗大ごみ破碎処理施設等着工

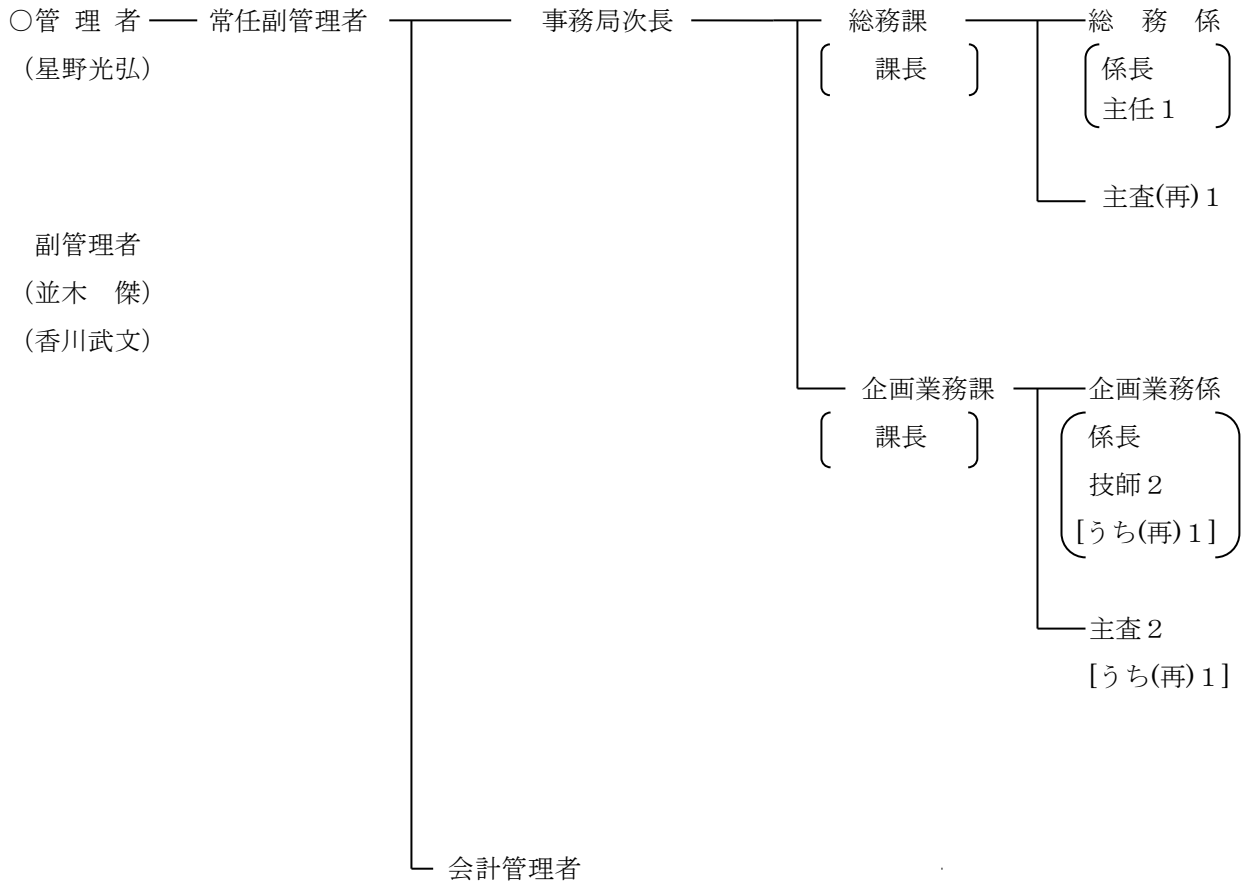
昭和61年	3月	建設事業完成（90t／24H×2炉、粗大ごみ破碎処理施設等） （本格稼働 昭和61年4月1日）
平成7年	9月	焼却灰及び集じん灰含有重金属処理施設着工
平成8年	3月	焼却灰及び集じん灰含有重金属処理施設完成
平成9年	7月	CO-O ₂ 連続分析計設置着工
	11月	CO-O ₂ 連続分析計設置完成
平成10年	7月	ダイオキシン恒久対策工事着工
平成12年	6月	リサイクルプラザ（プラスチック分別処理施設）着工
	8月	ダイオキシン恒久対策工事完成
平成14年	2月	リサイクルプラザ（プラスチック分別処理施設）完成
平成14年	4月	リサイクルプラザ利彩館開館
平成25年	5月	粗大ごみ・ビン処理施設着工（粗大ごみ破碎処理施設、有価物回収施設を 一体で更新）
平成25年	10月	有価棟・ベット、ソファ解体場撤去工事着工
平成26年	12月	粗大ごみ・ビン処理施設完成

〈（仮称）志木環境センター用地〉

平成6年	1月	用地取得事業着手
平成8年	3月	用地取得事業完了
平成11年	2月	用地整地及び管理施設設置着工
	3月	用地整地及び管理施設設置完成
平成25年	2月	一般国道254号和光富士見バイパス道路用地として一部売却

4 志木地区衛生組合組織図

(平成28年10月1日現在)



※ (再) は再任用職員

○議 会

○監 査 委 員

○公平委員会